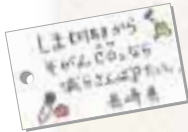


ゲンキな(元気菜)コンテスト。

生ごみリサイクルの土で育てた「元気野菜」の
おいしさを競うコンテストで、エコ意識を啓発。



「チーム・リサイクル(し)隊」は、行政と連携して市民の生ごみ減量・リサイクル活動を進めています。市民の関心を高め、活動への参加を促すため、リサイクル堆肥で作った野菜のコンテスト「元気菜!コンテスト」を開催。気軽に取り組めるように、地元スーパーの協力を得て、店の一角に資料や資材を置いています。食育の分野とつながることにより、「命の循環」や「自然との関わり」を考えるきっかけづくりにもなっています。



「元気菜!コンテスト」には、生ごみをリサイクルした堆肥で育てた数多くの野菜が出品された。

団体名:チーム・リサイクル(し)隊
所在地:長崎県対馬市

都道府県大会の名称

そがんCO2なら! 減らサンバ!
~エコライフ・コンテストin長崎~

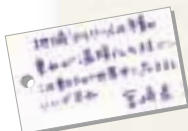


子どもたちがエコッキングを体験。出た生ごみを堆肥化する方法も学ぶ。

まちは、キッチン産のエネルギーで動きます。

廃油も地産地消。

じぶんたちで、バイオエネルギーを作ろう。



宮崎市と「バイオマス研究会」は、廃油の回収、バイオディーゼル燃料(BDF)の原料となる植物の栽培研究、BDF化装置の製作、燃料の精製方法の研究と精製、燃料使用と車両への影響の研究、副産物の有効利用の研究などを行っています。家庭から排出される廃食油の回収も実施。自治会等が回収拠点などを決めた上で登録すると、市が回収容器を貸与して、団体ごとに、月に1度回収。集めた廃食油はBDF化してごみ収集車の燃料として利用しています。

自治会などの団体ごとに回収した廃食油をBDF化。精製方法や車両への影響などの研究も進めている。



廃食油からできたBDFは、市のごみ収集車の燃料として使用。

団体名:バイオマス研究会、宮崎市
所在地:宮崎県宮崎市
ウェブサイト:<http://www.mc3a.or.jp>

都道府県大会の名称

“どんげかすつど温暖化” コンテスト